

色彩で診断したり治療することが出来ると聞いたらエッ「本当」「ウソ」と信じられないよね。何故色で病気を診たり治ったり出来るの。そこで色彩治療について、聞いてみました。

Q 色彩治療って私たちが普段みている色ですか

A そうですね。物質はすべて光に反射されて色として見えるのです。今いわれている色だけでも 680 億色あるといわれています。私たちの目で確認できる色は 1000 万色あります。凄いでしょう。

Q そんなに色がある・・・その色が治療になるの

A 例えば赤色みていると興奮してきます。青色をみていると沈んだ気持ちになります。そうして皆さんも好きな色をみていると気分が晴れやかな気持ちになるでしょう。きれいな色をみると気分的にいやな感じを受ける様な経験はあるでしょう。視覚によっても色による浮き沈みがある。これ自体が身体の色による変化を現していることになるのです。何時だったかテレビでポケモンの漫画放映の時、色の刺激的な点滅をした為に見ていた子供達がてんかん症状や、失神状態が全国的に発生、急遽取りやめた事がありましたね。この様に視覚に訴えても色は強烈な衝撃を与えます。

Q そういわれればそうですね。では病気によって色は違うのですか。それは何故ですか。

A いい質問ですね。私たちが生きていくのも細胞が休まず働いてくれるからです。

例えば私たちの生命のエネルギーと言われているアデノシン三リン酸 (ATP) という (酵素) 細胞が、私たちの喜怒哀楽や考えたり運動したりするのもすべて ATP の作用なんですよ。この細胞は凄い勢いで 1 秒間に 1500 回転、中には 100,000 回転もするのです。ATP 細胞が動いているという発見でアメリカのポールポイヤー博士がノーベル賞を貰いました。この様に細胞が動くことにより活動電位が起こり、電磁波 (波長) が発生します。60 兆ある細胞もすべて動いているわけですから、同じようにそれぞれ細胞別の働きから異なった波長がでていくことになります。細胞の動きにもそれぞれの役割があり、病気になった細胞にはウイルスや細菌の活動電位が乗り移り波長が変わります。元気な細胞の波長とは異なるわけですから、どの様な波長がでていくかをみるわけですね。そうしてその異なった波長をすべて色に置き換えてみていくわけですね。

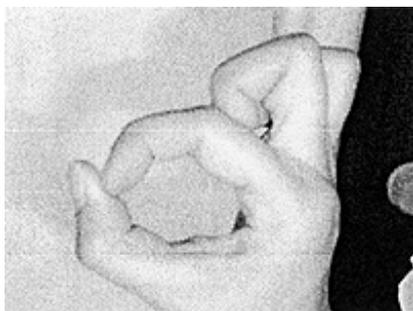
Q 細胞の色をどの様にして見分けるのですか

A 大変難しい問題ですが。色 = 波長として考えます。物質にはすべて波長があります。例えば痛みの神経が 420 Hz の波長としたら、420 Hz と同じ波

長の色を探します。どの様にして探すかが問題ですね。人間の脳には訓練しますと恐るべき超能力が生まれます。テレビでご覧になった方は覚えておられると思いますが、研磨職人が1000分の1耗を研ぐのに何回研いでも寸部の狂いもなく仕上げますね。またガラス職人が1000分の1グラムの玉取を何回しても0.001gの狂いもなくとります。これにはとぎ汁の色とか、刃の光具合とか玉の色具合で一瞬の間に見分けられるそうです。大工さんにもいますよね。分の狂いもなく削ったりあわしたりします。これらの熟練した職人さんと同じように色の波長を見分けるのも同じ理屈になります。ウイルスや細胞を手を持ち、そこから発する波長と同じ波長を持った色が反応します。

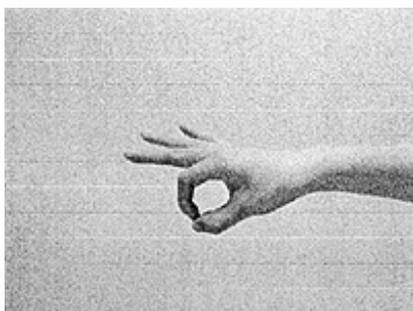
この様に同調する波長を共鳴現象と言っています。これらの作用に関係する脳は松果体であると説明されていますがまだはっきりと分かっておりません。私たちが細胞と色の波長を見つけるために応用しているのがパワーテストといって指の筋力の強弱反応で調べます。物質と色が同じ波長の場合共鳴しますから指で作ったリングの力がスット抜けます。その時の色が物質と同じ波長の色ということです。このような方法で一つ一つ見つけていくわけですが大変な作業ですが訓練すれば誰にでも出来ます。

パワーテストとは具体的にどの様なものですか。

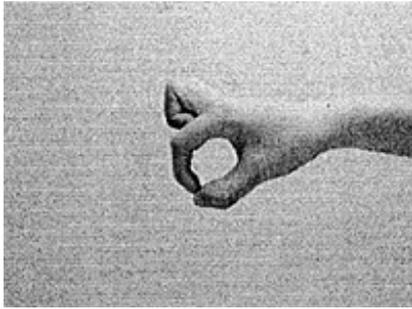


(1) リングの作り方ですが親指の指紋の所に入差し指の先端を当てます。

パワーテストはリングの作り方が大事なポイントです



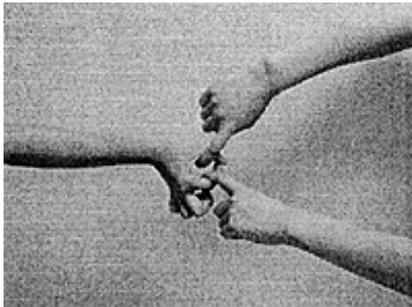
(2) まず写真のように親指と人差し指でリングを作ります。他の指は曲げないで伸ばしているとその指がセンサーになってアンテナの役割を持ちノイズを拾い正確な診断が出来なくなります。悪いリングです。



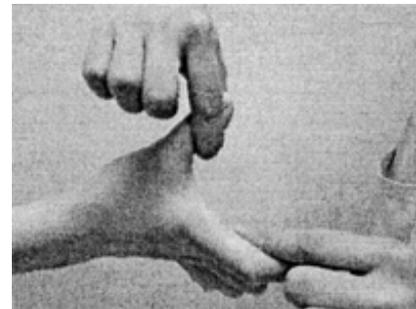
(3) 必ず次の写真のように親指と人指し指以外の 3 本の指は折り畳んで下さい。正しいリングの作り方です。



(4) 指の力には個人差がありますから写真のように空のビール瓶又はワイン瓶を持ち落ちない程度の力でリングを作ります。大事な事は、リングを作る人もリングを引っ張る人も同じ力が必要です。

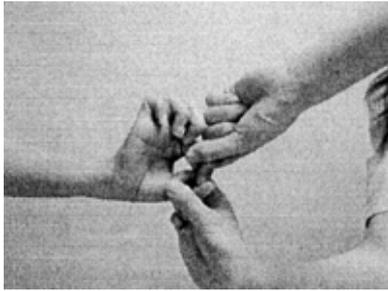


(5) 引っ張る人は、写真のように人差し指だけで引っ張ってはいけません。



(6) お互いにリングを作り写真のようにリングの親指第一関節と示指の第一と第二関節の間に同じようにリングを作り輪を作ります。





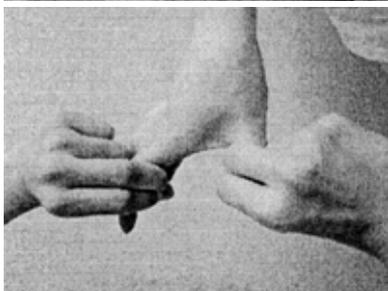
(7) 下から見た正しいパワーテストの形です。



(8) 出来ました。今度は引っ張る人は肘をあげて真横に引きます。上や下に引っ張ってはいけません。

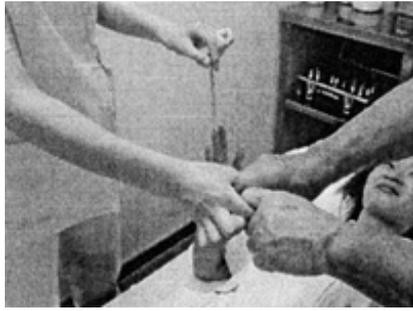


(9) 正しい指の力の入れ方は(4)説明しましたが、もう一つの方法として、写真のようにリングに対して1本の指で開かないとき2本の指を(人差し指と中指合計4本指で引っ張りリングが開いたら正しい方法です。



(10) 相手のリングが4本でも開かないときは相手のリングの作り方は今度は中指と親指でリングを作り(9)と同じ方法で繰り返します。それでも強い場合は薬指と親指でリングを作ります。必ず1本で開かないが、2本で開く指を用います。





(11) 診察している状態です。探索棒を持ち患者さんの中指先端に当ててパワーテストで開いたら探索棒に書いてある疾患名であることとなります。



(12) 探索棒は各疾患別にあり現在2000本が作られています。

Q パワーテストについてはよく分かりました。どうして病気が診れるのですか。それが何故病気に効くのですか。

A 探索棒といって診断や治療点に使います。この探索棒の中に風邪なら風邪ウイルスに置き換えた色が入っています。もし風邪を引いている人は風邪の探索棒が反応して指は簡単に開きます。胃が悪い場合、胃に関係する探索棒はすべて良性から悪性に至るまでパワーテストで調べ反応した疾患に適したカラーを貼付します。痛みの場合には即効性で痛みは消失します。もし消失しない場合は、見落としがあるものとして点検し、消失するまで調べ確認しております。カラーはこの様に威力があります・

何故そんなに効くのですか。効く原理は逆位相と説明しております。例えば、マイナスの音=騒音にプラスの音を重ねて「打ち消してしまう」という、逆位相音の技術は10年ほど前に日産がすでに実用化していますが、今回開発されたホンダ・松下のシステムはオーディオ用のスピーカーを兼用して逆位相音を流します。もちろんこれは世界的にも初めての技術です。ホンダはこれをオーディオシステムの機能として採用しましたが、オーディオの電源のON/OFFに関わらず騒音低減機能は働く様に作られています。また、車道にはさまざまな車種の走行音で満ちています。三菱重工では、この騒音に対して連続的、かつ瞬時に逆位相の音を発生させ、道路での騒音を低減させる「アクティブソフトエッジ遮音壁」を国土技術政策総合研究所と共同開発し、世界で初めて商品化に成功しました。この遮音壁は、

通常のもの先端に幅 60cm の逆三角形のアクティブ減音装置を設置します。それにより、減音装置のない遮音壁に比べて、同じ高さで測定した結果で約 4dB ほどの大きな減音効果が確認されています。これは、道路交通量を 60%近く削減した効果に匹敵するものです。

暴走族対策として、オートバイの騒音に毎晩悩まされることなく快適に過ごせるレシーバをつけるだけで、騒音を打ち消す器具が販売されていますね。この器具はオートバイと同じ波長をもった爆音を外に向けて発信して打ち消しあうように作られています。又、池に同じ石を両側に投げると水輪が出来ます。これがだんだん大きくなって重なり合った輪が消失しますね。これと同じ原理です。これらはすべて逆位相を応用したものです。これは同じ波長が右からと左から来たものがぶつかり合ったとき波は打ち消しあって波が消えます。これを 0 になるといいます。ですから例えば痛みの神経が 100 の力で押し寄せて痛みを起こしていても、そこに同じ 100 の力で迎えますと $100-100=0$ となって痛みが即時に消えます。これがカラーは何故効くかの理由です。

Q そうするとゼロになることにより 1 回で治るのですか

A 例えば痛みに例を取ると、急性の場合なら 1 回で治ります。痛みのひどい腎臓結石で転げ回る様な痛みでも、色で即時痛みが消失します。又子供の中耳炎の激痛でも色を貼った途端に痛みは消えます。激しい歯痛でも即時に痛みは消失します。他にも即効的に治った症例は沢山あります。

慢性の場合は、長い間の炎症により色んな細胞組織が破壊されています。色を貼ったときには痛みが消失しますが、しばらくすると又痛み始める人もいます。このことは最初に一番強い波長を捕らえ治療する事によりその場は治まりますが、個人差があり 1 週間くらいで又痛みがでてきます。変形や炎症範囲の大きさ、細胞組織の破壊、ウイルス、細菌、痛みの神経伝達物質、等が関与しているので新しく追加しながら貼らなければなりません。テロリストのように潜伏していたのが突然でできたりしますから、繰り返し貼ることにより細胞が活性化して、正常状態になります。完全治癒まで個人差はありますが、確実に治癒します。これらはすべて色だから出来ることです。しかも薬剤のように副作用は全くありません。

Q 色は凄い威力があるのですね。癌などの痛みも消えるのですか。癌は色で治るのですか

A 当然、痛みは消失します。癌も細胞の変異したものです。ガン細胞といっています。皆さんも知っているように病院では細胞診をして癌の種類をいいますね。例えばこの癌は扁平上皮癌です。と宣告されます。色彩治療の場合は更に癌の種類を詳細に調べます。例えば胃癌なら腺癌といわれてもそ

れだけでなく最低でも5種類以上の癌細胞を見つけることができます。病院では癌の場合必ず手術・抗癌剤・放射線をいいますが、これらはすべて免疫機能を著しく低下させます。このために副作用に悩まされ治癒することはありません。新潟大学の安保教授が癌に対する現代治療3大悪として警告しております。事実全くの初期の場合は、手術も成功しますが、発見される場合は既に遅い場合が多く転移もしています。この場合手術・抗癌剤・放射線をすることにより免疫力の低下は更に病状を悪化し死を早めます。このとは、あなたの周囲を見れば分かると思います。色彩治療は免疫力を高めガン細胞を分子レベルで攻撃し多くの癌を消失した実績を持っております。現代医学は全く逆で放射線や抗癌剤などの副作用から食欲は減退し体力は消耗するようなことをしています。当然免疫は低下し癌細胞をやっける力はありません。癌と闘うには免疫力を旺盛にすること。美味しく食べられる状態を作ることです。食欲を増し、しかも癌細胞を攻撃し免疫力を高めることがカラー治療だからこそ出来ます。だから多くの癌患者さんが快復し社会に復帰しています。

Q そうすると治らない病気は無いみたいですね

A そうありたいですね。しかしまだ病気によって何が原因なのか、どの細胞や分子が関与しているのか。分からないことが沢山あります。部分的に分かって一部の波長は調整できても、疾病に関連性のある波長がすべて調整出来無ければ、残念ですが、それらの病気に対する治癒効果は望めません。まだまだ研究課題は山積しております。

世界中で難病に対して研究されていますが発見した異常細胞や遺伝子はこれを基に製薬されますが、薬の場合は異常細胞そのものを対照にしていることです。したがって異常細胞を攻撃するだけでなく正常細胞にも影響を与えるために副作用を伴うことは避けられません。しかしカラーに場合は発見された異常細胞のみを捕らえるのではなく、その悪い細胞の育成を助けている分子まで捕らえているところが大きな違いです。例えば木が風にあおられて燃えています。薬は水をかけることしか出来ませんし必要のないところまで水浸し(正常細胞)になりますが、カラーは水だけでなく火が燃えるために外部から扇いでいる風まで捕らえています。しかも波長ですから正常細胞には一切影響を与えません。この点が大きな違いですね。だからカラーは異常細胞の組織を見る場合にも必ず応援している分子をともに見ている事になりますから即効性があり、気持ちの良い効き方をします。

2004年2月15日

加島 春来